



ぐるり庄原 カメラ レポート



地域発のまちづくりで日本が変わる

自治振興区まちづくり講演会



「住んでいる人が楽しいまちにすることが大切」と国井さん

9月4日(日)、市民会館で自治振興区まちづくり講演会が開催され、会場には700人を超える多くの人が集まりました。

当日は、NHKの番組「プロジェクトX 挑戦者たち」の司会でおなじみの国井雅比古さんを講師として招き、「地域からの挑戦 地域おこしが日本を変える」と題して講演。国井さんは、番組づくりを通して多くの人と出会い感じたこと、さらにはまちづくりについて、「人や自然など、庄原には都会に無い多くのすばらしい資源があるように感じました。自分たちのまちは自分たちでつくるという気持ちで、地方から日本を変える大きな力となるはずですよ」と話されました。



小さな命を守るために

幼児救急法講習会



集まったお母さんたちに説明する入江さん(写真右)



親子で人工呼吸に挑戦

9月13日(火)、庄原駅舎内のひだまり広場で幼児救急法講習会が開催され、親子連れ50人以上が参加しました。

集まった参加者は、庄原赤十字病院の幼児安全法指導員である入江敬恵さんの、子どもの病気の特徴と発見の仕方、誤飲などへの対処法などの説明を、資料を見ながら熱心に聞いていました。

またその後は、万一の場合に備えて、人形を使った人工呼吸と心臓マッサージの講習も行われ、実際に体験した母親からは、「人工呼吸やマッサージを繰り返すのは、見た目よりも大変ですね」と感想が聞かれました。



死亡事故ゼロを目指す

セーフティ・アーチin高野

秋の全国交通安全運動の一環として、庄原市交通安全協会などが9月27日(火)、高野福祉保健センターで、秋の全国交通安全推進大会「セーフティ・アーチin高野」を開催しました。



安全を祈る湯川雪山太鼓

大会には、高野小学校の児童や地域住民など約100人が参加。高齢者の交通事故防止や夕暮れ時の交通事故防止、シートベルトの着用などの重点目標を確認し、「年末まで一人の死亡者も出さないよう、交通安全の輪を広げよう」などと呼びかけました。また、交通安全祈願のアトラクションとして湯川雪山太鼓が披露され、高野小学校と高野町老人クラブ連合会の代表が「事故に遭わない、起こさないことを決意します」と交通安全宣言をしました。



巨大なアーチが登場



自然の中を駆け抜ける

第10回水源の森ツーリングトライアルin比和

9月25日(日)、比和総合運動公園を中心に第10回水源の森ツーリングトライアルが行われました。このトライアルは、比和町内1周約70kmのコース内に設けられた30のセクションをそれぞれ自慢のバイクで挑むもので、県内外から約80人が参加。各セクションには、急な法面や川の岩場、高いコンクリートの段差など難所が数多くあり、思わず足をついてしまったり、転倒してしまったりと減点になってしまう選手が相次ぎました。しかし、参加者の皆さんはこの大会で比和の自然を満喫されたようで、「来年もぜひ開催してほしい」との感想も聞かれました。



急斜面をバイクでかけ上がる



豊かな自然いっぱいのコース



おじいちゃん、おばあちゃんに感謝をこめて

各地域で敬老会

総領地域では、9月中旬に、地域の高齢者の皆さんを招いて敬老会が開催されました。各会場では、集まったみんなで話をしてのんびりした時間を過ごしたり、神楽やゲームなどの楽しいイベントで盛り上がる姿が見られるなど、地域の特色が出た敬老会になりました。

9月10日(土)に総領文化会館で開催された下領家自治振興区の敬老会では、世代間交流や仲間たちとの話で盛り上がり、笑顔の絶えなかった高齢者の皆さんから、「次が楽しみじゃのお」など、来年を待ち遠しくしている感想も聞かれました。また開催した関係者も、皆さんが楽しく過ごされる様子を見て、元気をもらったようでした。



神楽を楽しむ皆さん



地域みんなでスポーツの秋

第32回三坂地区住民運動会

9月19日(月)、毎年恒例となった「三坂地区住民運動会」が、三坂小学校グラウンドで開催されました。今年で32回を数えるこの運動会は、地域と学校が一緒に行ってきた行事でしたが、平成16年3月に三坂小学校が休校となったため、地域で



早さと技術を競った縄ない

話し合った結果、自治振興区が引き継いで「地域運動会」として継続して行っています。

当日は、子どもからお年寄りまで約100人が参加し、「がんばれ」、「早く早く」などの声援が響く中、びん倒しや玉入れ、縄ないなどで汗を流しました。

地域の中で、大人から子どもまで参加できる行事の一つであるこの運動会。これからも、地域の宝として継続していきたいものです。



さあ、たくさん入れろぞ!



身近な川を通して環境を学ぶ

子どもの水辺教室

9月22日(木)、身近な川を通して環境意識を高めようと、備北地域事務所と市が主催する「子どもの水辺教室」が開催され、東城小学校の6年生が参加しました。

児童は、川の環境や生物についての説明を受けた後、東城町を流れる成羽川に入り、水生生物を採取・観察。淀みではヒルなどが見つかり、少し水が汚れているようでしたが、流れのあるところには「カワゲラ」や「ヒラタカゲロウ」、またこの辺りでは珍しい「アマカ」など、きれいな水の中

にいる生物が見つかり、成羽川は「きれいな川」という結果が出ました。最近では、子どもが川で遊ぶことが少なくなっていますが、川に生きる生物を知ることで川の環境についてしっかり学んだ一日となったようで、参加した日野原瞭くんは、「いろんな昆虫が取れて楽しかったです。川をきれいにするためにごみ拾いをしてみたい」と感想を話してくれました。



いろんな生き物がみつかったかな



新市を鼓舞する太鼓の響き

合併記念式典前夜祭



勇壮な太鼓の演奏

9月24日(土)、合併記念式典前夜祭を兼ねた第4回TAIKO交流会が、口和文化ホールヒューマンライツで開催されました。交流会には市内全域から9団体が参加して、和太鼓の演奏で交流。会場には、市内だけでなく広島市、遠くは兵庫県などからも来場があり、約400人が太鼓の演奏を楽しみました。

演奏会後に行われた交流会では、各団体が自己紹介をする中で、「これまでは、交流しても"よその太鼓"という気がしていたが、合併してとても身近に感じられました」という感想も聞かれました。



終了後にお礼を述べる参加団体代表者の皆さん